

# OTANIing

大谷の「今」を伝える。「未来」へ繋げる!



2023.7  
vol.236

O-CAST



## いのちの数字

学校長 飯山 等

神戸に住まいする長女から、孫の灯くんの生後1000日を家族で祝っている写真が送られてきました。小2の兄の新君が持つメッセージボードには、画の巧みなお父さんが描いてくれたアンパンマンとおさるのジョージのイラストに添えた「アンパンマン大好き／おさるのジョージ大好き」のメッセージ、そして「もうすぐ3歳／とてもしっかりしています／お話し上手／明るく遊びのアイデアたくさん／ままごと、お店やさんごっこ大好き／新が大好き／野球もサッカーも大好き」と、大好きなものがいっぱい灯君の近況が書かれています。

区切りの日を元気に迎えられたことを、おじいちゃんの私もまた喜びました。そして、私も家族にお祝してもらえような日が近々ないものかと、今日(2023年6月2日)までで何日生きたのだろうとPCで調べました。結果は26,617日、大きな区切りとなる日は近いところで30,000日であるように思えました。その日まであと3,400日ほど、9年余り先です。何だかなあ、と淡い期待は一瞬に遠ざかりました。と同時に26,617日という生後日数が、私には意外に少ないなあと感じられもしました。そこにあったのは、もっといろんな日々があったという思い、さまざまな経験と情いに充ちた時間を歩んできたという自惚れであったのかもしれない。2万6千という数字は、そのような自負を逆なでするように、一括りにパッケージされてそこに張られた値札シールのように感じられました。

その日、就寝の床に入りそのことを思い返していたとき、それは私の不遜にほかならなと、激しく難する声が全身をつらぬきました。たったの2万6千日という、そのような理解は、一日を一つの便利な区切りとして採用して、いのちを外から観たものであり、決して内感された相ではないという思いが胸に突き刺さりました。そのとき私に感じられていたのは心臓の脈動でした。ああ、そうか。私がすっかり忘れていても、変わらず打ち続けている鼓動。この脈動ゆえに生きているということは成り立っているのだと。この鼓動は私が生まれてから26,617日、ひとときも止むことはありません。面倒だな、嫌だな、したくないなあ、という負の感情に私の全身が支配されたときにも止むこと無く、晴れやかな達成感に喜びが爆発しているとき、明日が待ち遠しい期待感・高

揚感が充溢しているときも、ワレを忘れることなく確かな拍を打ち続けます。私の思いに右顧左眄することなくはたらき続ける、生きてあることの根源的事実です。

ふと、いったい現在まで何回脈を打ったのかという問いが浮かびました。脈拍の基準値は1分間に60～100回、平均的には60～70回です。私の現在までの平均値を70回/分として計算してみました。結果、26,617日のあいだに26億8,299万回ほどになりました。目の眩むような数字です。生きてあることを成り立たしめるために、心臓が1分間に70回拍動をしている。そのことによって身のすみずみまで生きることが成立している、休むことなき刻々のはたらき。生まれてから何日生きたという数字に、特段の感慨を抱くことなく、返って冷めた物足りなさを抱いてしまっていた私は、その脈動の数字と、成り立っている事実の厳粛さに打ちのめされました。私がどのようなときであっても、私の意志や意識の圏外で、ひとときも休むことなく打ち続けている拍動。喜びが爆発して生きる意欲が横溢しているときも、一步を踏み出す勇気も力もなくて頼(くずお)れてしまうその時も、その私を祝福するのでもなく、叱咤激励するのでもなく、私を否定し抛擲してしまうのでもなく、好悪、是非の遙か彼方にあるはたらくことを止めない。その選びのないはたらきによって、私の生きるということは、絶えることなく続けられてきたのです。73歳になろうとする私の、27億回という目も眩むようないのちの数字です。

ネットで調べてみると、おとな一人の血管をすべてつなぎ合わせた長さは、地球を2周半およそ10万キロメートルにもなるそうです。その血管の中を流れる血液が、身体の隅々まで、酸素と栄養などを運び、免疫や体温の調整などを担っているのです。その生命維持の根幹の表れが脈動です。心臓から出た血液が全身を巡って、また心臓にもどってくるまでの時間は30秒であるとも書かれていました。30秒ごとに役目を果たして、また新たな担い手が心臓を出て行く、弛まざるはたらきです。

私は今、幼いときに聞いた、「大切なことは胸に手を当てて考えなさい」という言葉を思い出しています。頭に去来する想念を私の中心に据えて、私を考えてはならない。胸に手を当てて、心臓の鼓動を感じながら考えようと、私にやさしく語りかけます。